

発行
公益社団法人福島県防犯協会連合会
福島市舟場町2番1号
福島県庁舟場町分館3F
☎024-573-0699
FAX 024-573-2833
<https://www.bouhanfukushima.com>
印刷 (株)民報印刷

令和7年全国地域安全運動

メインスローガン 「みんなでつくろう 安心の街」

サブスローガン 「突然のお金の要求 それは詐欺」

安全で住みよい地域社会の実現に向けて、10月11日(土)から同月20日(月)までの10日間「令和7年全国地域安全運動」が、全国防犯協会連合会、都道府県防犯協会、警察庁及び都道府県警察等の協働で実施されます。

県民の皆さん一人ひとりが、「自分たちのまちは自分たちで守る」という自主防犯意識を高め、犯罪のない安全で安心なまちづくりに努めてまいりましょう。

全国地域安全運動福島県民大会

日時：令和7年10月15日(水) 午後2時
場所：郡山市立中央公民館



運動の重点

- なりすまし詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺の被害防止
- こどもと女性の犯罪被害防止
- 万引き・自転車盗の被害防止
- 地域で多発する犯罪の発生実態に即した犯罪被害防止

福島県警察からの緊急お知らせ

二セ警察詐欺に注意



警察がSNSで連絡することはありません！
警察からお金を要求されたら、それは詐欺！いますぐ相談を！

前年に比べて
激増！

令和7年6月末の
なりすまし詐欺被害状況は

89件
6億3,857万円

(前年同期比)

+36件 +5億5,152万円

※ なりすまし詐欺被害のうち、

二セ警察官等によるオレオレ詐欺は
41件 4億7,596万円

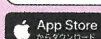
(前年同期比+38件、4億4,604万円)

と激増しています。

二セ警察詐欺にご注意ください。

インストールはこちら

POLICE アプリふくしま



地域安全標語

もう一度 確認しようよ その電話

各地区防犯協会・ボランティア団体の活動紹介

二本松市防犯協会大平支部（二本松市）



二本松市防犯協会大平支部は、子どもの安全と侵入盗事件の未然防止を重点に、同支部独自のパトロール部隊として、平成23年11月に結成した「大平防犯パトロール隊」による青色回転灯装着車両での防犯パトロール、防犯診断やチラシの配布など、地域住民や行政区と連携した防犯活動を積極的に展開し、「安全で安心なほんまつ」の実現に貢献しています。

いわき東地区防犯協会連合会玉川支部（いわき市）



いわき東地区防犯協会連合会玉川支部は、いわき東地区防犯指導隊玉川分隊員や行政区長、民生児童委員等で構成されています。

同支部は、年金支給日に管内の金融機関において「なりすまし詐欺」被害防止広報活動を実施したり、定期的に青パトによるパトロール活動を実施するなど、地域の安全・安心の確保に多大な貢献をしています。

令和7年度 防犯功労者・優良防犯団体表彰

長年にわたる献身的な活動が認められ、次の個人・団体の方々が、東北管区警察局長及び東北防犯協会連絡協議会会長の連名表彰を受賞されました。（6月27日付）

長きにわたるご尽力に心から感謝とお祝いを申し上げます。

防犯功労者（11名）（敬称略）

- 土橋 宏（会津若松地区防犯指導隊副隊長）
- 安藤利夫（伊達市防犯協会連合会白根支部長）
- 安齋茂夫（二本松地区防犯協会連合会理事）
- 西田 健（本郷こまわり隊隊長）
- 渡邊 誠（仁井田地区防犯協会会長）
- 阿部康宏（桑折地区防犯指導隊隊長）
- 松本榮一（喜多方市防犯協会駒形支部支部長）
- 須藤昭雄（小野町防犯協会理事）
- 藤井要一（白河地区防犯指導隊西郷分隊副分隊長）
- 澤村兼人（平田村防犯協会理事）
- 渡邊和博（福島北地区防犯指導隊隊長）

優良防犯団体（3団体）（敬称略）

- 勿来防犯協会（代表：中野佐喜美）
- 絹の里見守り隊（代表：奈良 薫）
- 白河地区防犯指導隊白河分隊（代表：大竹功一）



令和7年地域安全ポスター・標語・青パト活動写真コンクール審査結果

令和7年全国地域安全運動・暴力追放運動「ポスター、標語及び青パト活動写真コンクール」の県審査会が6月12日(木)福島市の杉妻会館で行われ、次のとおり入選者・入選作品が決定しました。同コンクールは、公益財団法人全国防犯協会連合会が全国地域安全運動に向けて主催する全国公募の一環として行われ、ポスター51点、標語904点、青パト活動写真2点の応募をいただきました。

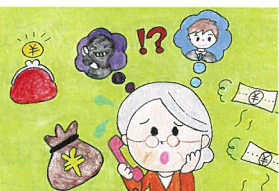
ポスター

小学生の部

最優秀  小池 翔さん (棚倉町立 近津小学校2年)

優秀  松井 葵さん (棚倉町立 近津小学校6年)

優秀  山岸 理胡さん (会津若松市立 行仁小学校5年)

佳作  小埜 瑛菜さん (棚倉町立 近津小学校2年)

中学生の部

最優秀  小野 愛海さん (浅川町立 浅川中学校3年)

優秀  緑川 奈瑠美さん (浅川町立 浅川中学校2年)

佳作  梅宮 百花さん (須賀川市立 第三中学校2年)

佳作  竹貴 梨乃さん (浅川町立 浅川中学校2年)

高校生・一般の部

最優秀  大滝 遥叶さん (工業高等学校1年 福島県立福島)

優秀  堀 勇太さん (工業高等学校1年 福島県立福島)

佳作  安達 俊介さん (工業高等学校1年 福島県立福島)

佳作  白坂 鈴菜さん (工業高等学校1年 福島県立福島)

標語

様々なかたちの防犯ボランティア活動 ～防犯ボランティアの裾野の拡大と活性化を目指して～

小学生の部

最優秀 突然の お金の要求 それは詐欺 武藤 海音さん (会津坂下町立坂下東小学校5年)

優秀 ボランティア えがおとあんしん ありがとう。 星 侑那さん (会津若松市立東山小学校3年)

優秀 あいさつで きずなをふかめる ちいきのわ 佐藤 朱莉さん (棚倉町立近津小学校4年)

佳作 ダメ絶対 インターネットの やみバイト 永樂 陽向さん (喜多方市立第一小学校6年)

佳作 防犯は 皆で見守る 意識から 小池 新さん (棚倉町立近津小学校6年)

中学生の部

最優秀 通学路 地域ぐるみで パトロール 佐藤 愛珠さん (須賀川市立第一中学校2年)

優秀 みまもりで 笑顔と未来 ままろうよ 大野 晴日さん (須賀川市立第一中学校2年)

優秀 地域の輪 日々のあいさつ 防犯に 小林莉桜菜さん (須賀川市立第三中学校3年)

佳作 見守りで 地域の安心 ばくあがり 廣田 淳人さん (須賀川市立第一中学校1年)

佳作 見守ろう 子供の安全 守るため 河原菜々穂さん (須賀川市立第一中学校2年)

高校生・一般の部

最優秀 常日頃 見守るだけで 防犯に 吉野 琉聖さん (福島県立勿来工業高等学校1年)

優秀 犯罪を みんなで防ぐ 地域の輪 齋藤 昌征さん (福島県立勿来工業高等学校1年)

暴力団のいない社会づくり

小学生の部

最優秀 おそれるな みんなで排除 暴力団 飯野 凜花さん (喜多方市立第一小学校6年)

優秀 ちいきから みんなで追い出せ 暴力団 松下 結芽さん (棚倉町立近津小学校6年)

優秀 暴力団 いない社会の 街づくり 小濱 太一さん (棚倉町立近津小学校4年)

佳作 ならぬことは ならぬぞ 暴力団 木伏ななはさん (会津若松市立一貫小学校3年)

佳作 やめようよ 街にはいらぬ 暴力団 庚塚 柊平さん (喜多方市立第一小学校6年)

中学生の部

最優秀 暴力団 ことわる勇氣 大切に 佐藤 夏音さん (いわき市立磐崎中学校1年)

優秀 僕たちは 暴力恐れず 立ち向かう 鈴木 恵吾さん (須賀川市立第一中学校2年)

優秀 目指すのは 暴力団の いない社会 三浦 煌博さん (須賀川市立第一中学校2年)

佳作 つくろうよ 暴力のない 安全な町 吉田 優菜さん (須賀川市立第一中学校2年)

佳作 暴力団 そこにはいれば もどれない 松浦 陽斗さん (須賀川市立第一中学校2年)

高校生・一般の部

最優秀 暴力団 怯まず排除 地域の輪 岸本柊海斗さん (勿来工業高等学校1年)

《《補導員の手記》》

リアルな関係性を大切に

最近、少年がSNS上で知り合った相手に裸の画像を送ってしまうという事案が多く発生しています。

私は、学校で防犯教室や情報モラル教室の講話をする際、必ず「プライベートゾーン」について話をします。

「プライベートゾーン」とは、男女の身体のうち、性に関わる大切な場所で、水着で隠れる部分や口などをいいます。

その場所を、むやみやたらに他人に見せたり触らせたりしないこと、他人のを見たり触ったりしないこと、そして、画像や動画も同じであることについて注意喚起します。

私がこれまで関わった少年の中には、親子関係の不和から、SNS上で知り合った県外の異性の家に家出し、性被害に遭ってしまった少年や、SNS上で知り合った相手や同じ学校の生徒同士で、自分の裸の画像等を送り合ってしまった少年がいます。

一概には言えませんが、少年たちは保護者や友人との不和による寂しさ、怒り等の感情の捌け口、自尊心の低さや承認欲求が強く他人に認められたいとの思いから、SNS上につながりを求めるのではないかと思います。

優しい言葉や嬉しい言葉を掛けてくれる相手に、

福島県警察本部
少年女性安全対策課
県南少年サポートセンター
副主任少年警察補導員

坂本 晴香



警戒心も薄れ、自らプライベートゾーンの画像等を送信したり、性行為をしたりと性被害に遭ってしまっているのです。

そのときは自らの意思で行為をしていても、後々、後悔の念に駆られ、不安に襲われるなど、今もなお、心が傷ついたままの少年もいます。

後悔しないため、また、自分の体と心を守るためにも、プライベートゾーンを大切にしてほしいと思います。私は、少年が被害者や加害者にならないために、少年サポートセンターの業務である少年相談をはじめ、各種広報活動や街頭補導活動等、少年と接するあらゆる機会を捉えて、プライベートゾーンの説明やスマートフォン等の正しい使用方法、ストレス発散方法等をアドバイスし、また、その一方で少年の想いに耳を傾け、相談しやすい関係性を構築できるように努めています。

なぜなら私との関わりを通じて、少年達に、自分の周りにはリアルに相談できる人や場所があると気づいて欲しいからです。

私はこれからも、少年警察補導員として、また、ひとりの大人として、少年達に伝え続けていきます。

「インターネットやSNSのつながりだけでなく、リアルな関係性が大切だよ」と。

なりすまし詐欺の被害を防止するため、

「防犯対策電話録音機」

の普及を図っています。

県防連では、県民の方の要望を踏まえ、

貸出台数を増やしました。



➔ 貸出しに関するお問い合わせは、
県防連事務局 (024-573-0699)、
又は、各地区防犯協会(各警察署内)
まで連絡願います。お待ちしております。

福島県内では、依然として「なりすまし詐欺」の被害が多発しています。

公益社団法人福島県防犯協会連合会では、なりすまし詐欺の被害防止に一定の効果が認められる「防犯対策電話録音機」の貸出し事業を実施しております。

本事業は、令和3年から行っていますが、更に台数を増やし、一人暮らしの高齢者の方、高齢者だけの世帯など、被害に遭いやすい方に無償でお貸ししています。

是非、お試しください。

